

お わ り に

国際化、情報化、サービス化の流れの中で、日本経済の構造改革が進行している。学校も例外ではなくこの改革の中にある。この時代の要求に応えられる教育改革を実施しなければ生き残ることができない状況である。この改革は地域に関われ、信頼される学校をつくることにある。学校の組織運営や成果を評価する正確な評価の開発が、信頼される学校を左右するものと考えられる。

教育は、いついかなる時代にも変わらない、一貫して存在していなければならないものがある。変化に目を向けることは非常に大事だが、変化だけに目を向けることは必ずしも適当ではない。

複雑で流動的で不透明な時代は今後も続き、過去にはなかったような問題が次々に起こってくるのが予測される。したがって過去の経験だけでは問題を処理することはできない。未来に生きる子どもたちに思考力を養うような教育を行わなければならない。そのため教師は、子どもたちが自ら調査、研究、報告、討論をしていくための教授法を考えなければならない。教授法を変えるためには教師の意識改革が必要である。

時代に流されることなく、つねに教育の原点を見つめながら、各校の教育理念と建学精神を授業で実践し、人間の基本的な能力である感性を磨く教育を展開していくことが大切であると考えている。「不易」を現代の教育状況に応じて評価するということが大切であると考えている。時代の変化を敏感に感じとり、今求められている改革への取組みと子どもへの思いやりを失わないことも大切である。

学校を生徒、教師にとって、生き生きと活動できる場にするためには、「不易」と「流行」の両面をバランスよく保ち、理念をしっかりともち、意識改革を怠らないことが必要であると考えている。

当Webは、流通ビジネス分野科目群の知識・技術の伝達のみならず、子どもたちが自ら調査・研究・報告・討論を進めていくための教授法をワークショップのかたちで掲示している。今後これらをご活用していただいて「ビジネス教育」を推進していただければ幸いである。

最後に、当Web作成のために多くの先生方をはじめ関係者から、各種の資料提供、その他数限りないご協力、ご支援をいただいたことに心より感謝し結びとする。

岡山県高等学校商業教育協会
岡山県高等学校教育研究会商業部会
流通ビジネス分野研究委員会
副委員長 内田 太

流通ビジネス分野研究委員会

委員長	佐藤 賢次	(岡山県立玉島商業高等学校)	校長
副委員長	内田 太	(岡山県立矢掛商業高等学校)	教頭
運営委員	福岡 明広	(岡山県立岡山東商業高等学校)	教諭
"	高井 真樹夫	(岡山県立岡山南高等学校)	教諭
"	眞鍋 敏之	(岡山県立倉敷商業高等学校)	教諭
"	佐藤 伸治	(岡山県立琴浦高等学校)	教諭
"	岸本 弘	(岡山県立津山商業高等学校)	教諭
"	瀬良 優	(岡山県立笠岡商業高等学校)	教諭
"	鈴木 俊雄	(玉野市立玉野商業高等学校)	教諭
"	曽根 由紀子	(倉敷市立倉敷翔南高等学校)	教諭